

多胡宏音 パーカッション・リサイタル 2025

HIRONO TAGO

Percussion Recital

東京 9/11 (木) 19:00 OPEN 18:30

公演 東京文化会館 小ホール

JR上野駅公園口前 お客様用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
Thursday, September 11, 2025 at 7 p.m. Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall, Tokyo

京都 9/15 (月祝) 15:00 OPEN 14:30

青山音楽記念館 バロックザール

阪急電鉄嵐山線桂駅下車 西へ300m お客様用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
Monday, September 15, 2025 at 3 p.m. Aoyama Music Memorial Hall Barocksaal, Kyoto

京都公演

公益財団法人
青山音楽財団助成公演

PROGRAM

ヨンヒ・パグパーン 《ターリョンⅣ》

Younghee Pagh-Paan (1945-) : *Ta-Ryong IV* (1991) for percussion

フィリップ・ユレル 《ループスⅡ》

Philippe Hurel (1955-) : *Loops II* (2001) for vibraphone

ヤコブ＝テル・フェルドハウス 《Grab・イット!》

【東京のみ】 Jacob TV (1951-) : *Grab it!* (2009) for percussion solo and boombox

三善晃 《協奏的練習曲 1979年改訂版》 [助演] 永井晴二郎

【京都のみ】 Akira Miyoshi (1933-2013) : *Etude Concertante* (1979) for 2 marimbas

福士則夫 《グラウンド》

Norio Fukushi (1945-) : *Ground* (1976) for solo percussion

ヤニス・クセナキス 《ルボン》

Iannis Xenakis (1922-2001) : *Rebonds* (1987-1989) for solo percussion

ジョルジュ・アペルギス 《決闘》

Georges Aperghis (1945-) : *Le Corps à Corps* (1978) for percussionist and zarb

田中弘基 《委嘱新作》 [助演] 彌永和沙 永井晴二郎

Hiroki Tanaka (1999-) : *Commissioned work* (2025) for marimba solo and percussion ensemble

チケット 6/6(金) 発売 全席自由

一般 ¥4,000 U29 ¥2,000 (税込・当日券各500円増)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※U29をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。
※やむを得ない事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、助演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。

お問い合わせ 050-1721-3914 pndproject.contact@gmail.com

主催：多胡宏音 共催：pnd project

後援：ドイツ連邦共和国大使館(東京)

ドイツ連邦共和国総領事館(京都)

日本打楽器協会

(特非) 日本現代音楽協会

助成(東京)：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [スタートアップ助成]

公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団 みんなの寄付

助成(京都)：公益財団法人青山音楽財団

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

協賛(東京)：ブルーマレット株式会社

ジャパン・パーカッション・センター

東京パーカッション(スタジオSHINKI)

株式会社アクトサウンドプロダクト

ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

ARTS COUNCIL TOKYO

公演詳細はこちら



©Eliza Loginova

多胡宏音 パーカッション・リサイタル 2025

HIRONO TAGO

Percussion Recital

特設サイト

<https://hironotago.com/percussion-recital2025>

プログラムへのこだわり等、随時更新しております。
詳細や各プレイガイドへのアクセスはこちらのQRコードから。



チケット

6/6(金) 発売 全席自由

一般 ¥4,000 U29 ¥2,000 (税込・当日券各500円増)

プレイガイド

- ・イープラス <https://eplus.jp/>
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 299-346)
- ・東京文化会館チケットサービス <http://t-bunka.jp/> 03-5685-0650
- ・青山音楽記念館 075-393-0011 受付 9:30~18:00 (月・火 休館)
- ・webサイト <https://hironotago.com>
→ 予約フォームにご記入いただき、当日精算・引き換えとなります。

都会のざわめきと芸術が交差する上野、趣深く歴史と文化が息づく京都。それらの地で、何か共通の感覚を分かち合い信頼のおける音楽家と共に演奏できることを心より嬉しく思います。

まずはバグパーンによる韓国伝統音楽の繊細さを。次いでヴィブラフォンで構築と解体を愉しむユレル。クラシックの”ポップアート”、ヤコブTVに三善の深遠なるマリンバの響き。要塞型の目紛しいマルチパーカッションは富士作品。後半はクセナキスによる建築的構造美の名曲から。続くはイランの楽器ザルブと声で勝負するアベルギス。そしてメインには共にドイツで議論を交わした田中弘基の委嘱新作を。

どの作品も芸術的にも身体的にも高度な挑戦が求められます。

知られていながら、なお未知であり続ける打楽器音楽の深奥へと踏み込む、本公演が、その一つの契機となることを願っております。

打楽器作品に親しみのある方も、そうでない方も。

音楽が、少しでも皆さまの心に触れるものでありますように。

多胡宏音

多胡宏音 Hirono Tago

打楽器・マリンバ奏者。その深い音楽性と作品への鋭い洞察力に裏打ちされた表現力により、国内外で高い評価を受けている。国際コンクールでも受賞を重ねるなど、安定した柔軟な技術と音楽性は高く認められている。彼女の演奏から感じられる何よりもの魅力と可能性は作曲家の思想、哲学、時代背景を通して、真摯に果てしなく深みを探る貪欲なまでの音楽への情熱であり、自身と音楽との関係を探るその表現は、聴く者の心に深い感銘を与えている。

2023年南カリフォルニア国際マリンバコンクール第1位受賞。2020年第1回ボレンサ国際マリンバコンクール第2位。

現在、カールスルーエ音楽大学大学院国家演奏家資格取得課程に在籍し、ソロ・室内楽等の演奏活動に心血を注ぐ。若手の作曲家への委嘱活動をはじめ、2025年6月には国際フェスティバルに招かれてアルゼンチンでリサイタルやマスタークラス、コンチェルトを行うなど、活動は多岐にわたる。9月には東京文化会館、京都青山音楽記念館にてソロリサイタルを開催。今、世界的な活躍が期待できる日本の若手打楽器・マリンバ奏者として注目を集めている。

1996年東京都杉並区生まれ。14歳から打楽器を始め、第16回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞など、多くの受賞を果たし頭角を現す。打楽器初のヤマハ音楽支援奨学生。日本演奏連盟主催第30回新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズに最年少で合格し、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。国立音楽大学を経て、カールスルーエ音楽大学大学院修士課程を最優秀の成績で修了。現在同大学院国家演奏家資格取得課程在学中。パリ国立高等音楽院、並びにリヨン国立高等音楽院でも学ぶ。



彌永和沙 Kazusa Lyonaga

東京藝術大学音楽学部、同大学院修士課程を修了。JASSO奨学金業績優秀者奨学金全額返還免除生。

日本打楽器協会主催第35回新人演奏会で最優秀賞、第80回TIAAクラシック音楽コンクール優秀賞(最高位)受賞。

室内楽を中心に新作初演やオーケストラへの客演で活動する傍らVibraphone奏者としてレコーディング、各地イベントやLIVEハウス等での活動も行う。

寺田由美パーカッションアンサンブル「ドライヴ」メンバー。

助演

大阪市出身の打楽器奏者。6歳よりマリンバを始める。洛南中高を経て、京都市立芸術大学音楽学部音楽学科管打楽器専攻を首席卒業。市長賞並びに真声会賞を受賞。フライブルク音楽大学への派遣交換留学での経験をもとに現代音楽研究会club MoCoを創立。関西の現代音楽界の発展に寄与する。現在はカールスルーエ音楽大学修士課程に在籍する傍ら、マインツ州立管弦楽団研修生として研鑽を積む。ダルムシュタット夏季現代音楽講習会への参加等、現代音楽分野での活動も行う。



永井晴二郎 Seiji Nagai



田中弘基 Hiroki Tanaka

1999年神戸市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校及び同大学作曲科を卒業。小鍛冶邦隆に師事。2022年渡独、25年ドレスデン音楽大学修士課程を修了。Mark Andre, Stefan Prinsに師事。現在、シュトゥットガルト音楽演劇大学Konzertexamen課程にて、Luxa M. Schüttlerに師事。

第38回現音作曲新人賞受賞。第33回芥川也寸志サントリー作曲賞最終候補。2020年青山音楽財団奨学生、23~25年文化庁新進芸術家海外研修生。これまでに作品は藝大フィルハーモニア管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、アテネ国立管弦楽団などによって演奏されている。

委嘱作曲家